

第32回(令和6年度)職業リハビリテーション研究・実践発表会



職業リハビリテーションに関する調査研究や実践経験の成果等を広く周知するとともに、参加者関係者相互の意見交換、経験交流等を行うことで、職業リハビリテーションに関する調査研究、実践及び障害者の雇用・就業支援技法等の質的向上を図り、障害者の雇用促進に資することを目的に開催します。

2024年11月13日～14日に、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構（JEED）が主催する「第32回職業リハビリテーション研究・実践発表会」が東京ビックサイトで開催されました。当法人は本発表会にて、「企業における採用・定着の取り組み」をテーマに口頭発表を行いました。

発表者

木村昌子（本部事務局）

タイトル

障害者雇用の取り組みから広がるポジティブな意識変革
～当事者意識から生じたアクションに焦点をあてて～



発表概要

当法人は、障害児者・介護施設、回復期・急性期病院、在宅部門を有す。障害者雇用の行政措置対象の可能性をきっかけに、当事者意識が芽生え活動を開始した。アクションは、①人脈開拓・説明会②情報共有・意思疎通③会議活性化・発信④雇用率可視化を実施した。成果は、1年で法定雇用率を達成し、採用活動の推進・人財は経営資源・仲間の尊重・職場づくりなどポジティブな意識変革が生じたので、その経過と課題を報告する。

発表論文 ; https://www.nivr.jeed.go.jp/vr/shncm30000000d5r-att/vr32_r9-04.pdf

発表資料 ; https://www.nivr.jeed.go.jp/vr/shncm30000000d5r-att/vr32_h9-04.pdf